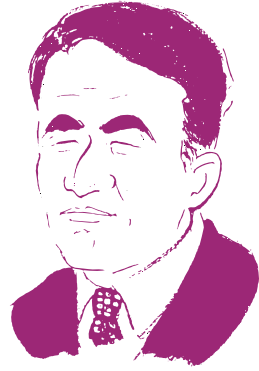


### この好機を活性化に生かす

日本共産党津山市議員 久永良一



**質問** 厳しい不況の中、来春、無電柱化、新洋学資料館開館などにより城東町並み保存地区を津山の活性化に生かす重要な一つの節目を迎える。全国的な宣

伝、食事処の整備、町家の修景促進、小路など重点地区以外の魅力づくりに積極的に取り組む事が大切。

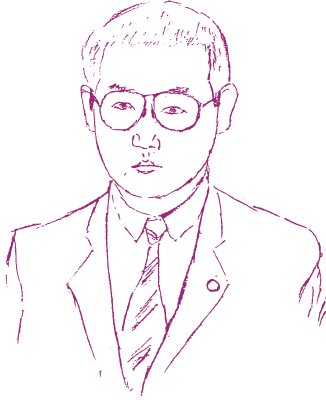
**答弁** メディアへの広告掲載、新聞や雑誌、テレビ等に取り上げてもらうなど、様々な方面に働きかける。町家の修景は、研修会の開催、啓発に取り組む。小路の舗装高質化など、城東全体で事業に取り組む。

**質問** 農業再生のためには、国へ農政の大きな転換を求めること。集落営農の拡充が大切。

**答弁** 津山にとつて有益になるよう要望する。組織の拡大を一層図る。

### 発達障害児への対応について

みどりの会 西野修平



**質問** 広汎性発達障害児の高等支援学校を県北に設置すべきだ。

**答弁** 障害児への教育環境の充実は重要課題と認識。本年十月に行つ、夢づく

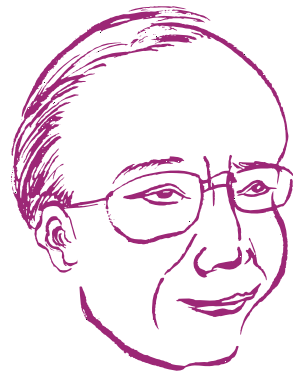
り地域サミット」で県北地域へ高等支援学校の新設など、特別支援教育の整備・充実に向けた提言をする。

**質問** お城山は津山のシンボル。整備状況はどうか。また、弓の道場を殿様が修練していた場所へ復元か、鶴山球技場へ設置しては。天守閣の復元は大変難しいと思えるので隣の丹後山測候所へ天守の建物を建て、美術館・博物館として桜を植え、新名所としては。

**答弁** 津山城跡の整備は年次計画をたて、それに則つて周辺も含め整備している。お城への弓道場は第二期計画で検討したい。新弓道場は公共用地で選びたい。本格的な美術館の整備は、今後の課題である。

### 津山街づくり(株)および地域医療問題

野村昌平



**質問** アルネビルを管理運営している第三セクター「津山街づくり(株)」の経営状況は。経営評価委員会等の外部チェック体制が必要では。

**答弁** 平成十九年度においては、創業以来初めての黒字となった。しかし今期(平成二十年)度は経常損益で一千六百万円の赤字となっている。今年度の決算を検証し、アルネの「ありかた委員会」の再編、再開を考えている。

**質問** 地域医療をしっかりと守るため、今回の津山第一病院の事態も含め、行政として救急医療体制の取り組みは。

**答弁** 医師確保がポイントと考えるので、市として大病院や岡山県への要請を今後とも継続して行つていく。圏域医療機関の協力をいただき救急医療体制の再編成を行った。

### グラスハウスの存続について

津山誠心会議 中島完一



**質問** 今後の方針について市長の考えは？

**答弁** 市としてはぎりぎりまで存続の可能性を検討している。その内容は、収

支がどこまで改善できるか。レジャー施設から健康増進施設へ変えるなど新しい運営形態ができないか。大規模修繕など県の支援がどこまで得られるか。リニューアルの考えはできないか。これらを慎重に見極め、早急に決断したい。

**質問** 岡山県との協議において、どのような成果、進展があったのか？

**答弁** グラスハウスを津山市が引き受けた場合の県の支援について、将来の撤去費について、県は負担できないが、運営経費の削減につながる大規模修繕や、リニューアルについては、可能な限りやりたいというものだった。

議員は病氣見舞金を禁止されています。